

学則の変更の趣旨等を記載した書類

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・	P2
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性		P2
1. 開学以来の経緯と学部設置等の沿革	・・・	P2
2. 志願者、入学者の変動	・・・	P4
3. 収容定員の変更を行う、学部学科の理由	・・・	P5
①教育学部教育学科	・・・	P5
②スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科	・・・	P7
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	・・・	P8
ア) 教育課程の変更内容	・・・	P8
イ) 教育方法及び履修方法の変更内容	・・・	P8
ウ) 教員組織の変更内容	・・・	P9
エ) 大学全体の施設・整備の変更内容	・・・	P9

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は表 1 のとおり、令和 5（2023）年度から教育学部教育学科の入学定員を 180 人から 170 人に変更する。内訳として、学校教育専攻の募集定員を 60 人から 70 人に、保育専攻の募集定員を 70 人から 50 人に変更し、養護教諭専攻の募集定員は 50 人のままとする。

また、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の入学定員を 260 人から 210 人に変更する。

表 1 本学収容定員の変更概要 (単位：人)

学部	学科	現行		変更後	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	230	920	230	920
人文学部	人文学科	100	400	100	400
心理学部	心理学科	100	400	100	400
教育学部	教育学科	<u>180</u>	<u>720</u>	<u>170</u>	<u>680</u>
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	<u>260</u>	<u>1,040</u>	<u>210</u>	<u>840</u>
健康栄養学部	管理栄養学科 ※令和 5 年（2023）年度 学科名称を「健康栄養学 科」へ変更	120	480	120	480
合 計		<u>990</u>	<u>3,960</u>	<u>930</u>	<u>3,720</u>

※編入学定員、研究科定員を除く

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

1. 開学以来の経緯と学部設置等沿革

本学は平成 7（1995）年度に経営学部経営学科 1 学部、入学定員 200 名（収容定員 800 名）にて開学し、令和 4（2022）年度現在、28 年の間に社会の養成に貢献すべく、学部学科設置、定員増を重ね、経営学部、人文学部、心理学部、教育学部、スポーツ健康科学部、健康栄養学部の 6 学部 6 学科入学定員 990 名（収容定員 3960 名、編入学定員、研究科定員を除く）と拡大し、高度な産業技術、教養文学、健康医療、教育者、心理学、スポーツ等幅の広い社会人養成を継続してきた。

①経営学部経営学科

東海学園大学は、平成 7（1995）年 4 月に高度な産業技術社会に生きる教養豊かな社会人の養成とライフスタイルとしての人間追求を基盤とした経営学部経営学科の 1 学部 1 学科で開学した。

②人文学部人文学科

平成 12（2000）年度には、昭和 39（1964）年に開学した東海学園女子短期大学の英文学科及び国文学科の改組転換により、人間の存在そのもの、人間の創り上げてきた文化、人間と人間の間を取り結ぶべきコミュニケーションについて探求するための人文学部人文学科を設置した。

③健康栄養学部管理栄養学科

平成 16（2004）年度には東海学園大学短期大学部生活学科の改組により、人間健康学部人間健康学科及び管理栄養学科を設置した。

平成 23（2011）年度に、上記人間健康学部管理栄養学科を学部として独立させ、健康栄養学部管理栄養学科を設置した。

④教育学部教育学科

人文学部人文学科に平成 20（2008）年度に教員養成・保育士養成を教育目標とする発達教育学科を設置し、中等教育（英語・国語）の教員養成は人文学科で行われてきた。一方、養護教諭養成は、昭和 39（1964）年 4 月に開設された東海学園女子短期大学以来の伝統を持ち、平成 16（2004）年 4 月に開設された、人間健康学部人間健康学科において行われてきた。この教育実績を統合し平成 24（2012）年度に教育学部教育学科を設置した。

⑤スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学部の前身である、人間健康学部人間健康学科は、身体的健康を保持・増進するために最も重要な「食生活と栄養」「運動・スポーツ」をはじめ、精神的健康を保つための「心理・精神保健」や、健康な生活を送るための「住生活と環境」「生活と福祉」といった健康を支える要素を取り上げ、幅広い視点から人間の健康を科学的・総合的に探求し、すべての人間が健やかでよりよい人生を送ることのできる社会の実現に寄与することを目的とし教育展開を行ってきた。

健康をスポーツ系分野から究明しようとする学生が非常に多い現状を踏まえ、人間健康学部人間健康学科を母体として、平成 24（2012）年度にスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科を設置した。

⑥心理学部心理学科

上記人文学部人文学科は平成 12（2000）年度の設置以来、「言語コミュニケーションコース」、「国際文化コース」とともに、心理学の学修を中心とした履修コースを設定し、毎年、入学者のおよそ 4 割程度の教育を担ってきた。その実績を受け平成 26（2014）年度に人文学部心理学科を新設し、履修コース時代の教育理念と教育資源を継承・発展させ、一層体系的な心理学教育を行ってきた。人文学部心理学科 4 年間の実績の中で熟成させてきた教育システムをさらに発展・強化し、より高い水準の心理学専門教育の実践を目指すため平成 30（2018）年度に心理学部心理学科を設置した。

2. 志願者、入学者の変動

本学は、上記の通り平成 7（1995）年度に経営学部経営学科 1 学部 1 学科で 4 年制大学を設置し、平成 30（2018）年の心理学部心理学科設置までの 23 年間で、6 学部 6 学科入学定員 990 名まで順調に拡大し、「共生」の教育理念を基盤に志願者も学部設置毎に飛躍的な伸びを見せ、各学部のディプロマ・ポリシーに沿った社会に貢献できる有能な卒業生を輩出し、現在も各界にて社会人として教育者として卒業生が活躍している。

しかし、令和 2（2020）年度入学者より、一部学部学科において定員の未充足となり、令和 3 年（2021）年度、令和 4（2022）年度においてこれまで順調に志願者を増やしてきた教育学部（保育専攻）、スポーツ健康科学部、健康栄養学部といった専門性の高い学部への入学者が急激に減少し、大学全体の入学定員 5%強の未充足となっている。

表 2 学部定員・入学者推移（過去 10 年）

学部	専攻	2022 年度			2021 年度			2020 年度			2019 年度			2018 年度		
		定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率
経営		230	230	100%	230	241	105%	230	243	106%	230	270	117%	230	329	143%
人文		100	117	117%	100	110	110%	100	113	113%	100	123	123%	100	134	134%
心理		100	145	145%	100	106	106%	100	108	108%	100	128	128%	100	124	124%
教育	学校	60	60	100%	60	65	108%	60	88	147%	60	84	140%	60	76	127%
	保育	70	50	71%	70	53	76%	70	63	90%	70	68	97%	70	55	79%
	養護教諭	50	31	62%	50	56	112%	50	49	98%	50	51	102%	50	50	100%
スポーツ		260	192	74%	260	225	87%	260	269	103%	260	291	112%	260	293	113%
健康栄養		120	94	78%	120	86	72%	120	104	87%	120	129	108%	120	118	98%
計		990	919	93%	990	942	95%	990	1,037	105%	990	1,144	116%	990	1,179	119%

学部	専攻	2017年度			2016年度			2015年度			2014年度			2013年度		
		定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率	定員	入学者	超過率
経営		230	278	121%	230	260	113%	230	286	124%	230	220	96%	230	273	119%
人文		100	134	134%	100	116	116%	100	147	147%	100	103	103%	200	205	103%
心理		100	123	123%	100	88	88%	100	98	98%	100	106	106%			
教育	学校	100	135	135%	100	126	126%	100	118	118%	100	123	123%	100	139	139%
	保育															
	養護教諭	50	64	128%	50	50	100%	50	53	106%	50	61	122%	50	64	128%
スポーツ		235	297	126%	235	272	116%	235	288	123%	235	275	117%	235	301	128%
健康栄養		120	123	103%	120	113	94%	120	144	120%	120	126	105%	80	99	124%
計		935	1,154	123%	935	1,025	110%	935	1,134	121%	935	1,014	108%	895	1,081	121%

3. 収容定員の変更を行う、学部学科の理由

①教育学部教育学科

以下の理由により、令和5（2023）年度から教育学部教育学科の入学定員を180人から170人に変更する。

教育学部教育学科内には学生が取得を希望する免許種別に、3専攻（履修コース）を設け、募集要項に入学定員を提示し募集を行っている。小学校、中学校（英語）教諭許取得を目指す学校教育専攻、保育士・幼稚園教諭免許取得を目指す保育専攻、養護教諭免許取得を目指す養護教諭専攻の3専攻であるが、特に保育専攻の志願者、入学者が年々減少している。また、本学のみならず表3に見られるように近隣他大学においても幼児教育、保育を目指す受験生は減少傾向にあり、将来的な学生募集に対する懸念が大きい。本学の昨年度保育専攻卒業生約70名の内66%42名（内10名公立保育園）が現役にて保育職に採用されており、この実績を継続し、学生確保をより確実にするために保育専攻の募集定員を70から50人と減少させることとした。

表3 愛知県保育士養成施設（大学）在学学生数

2022.1.12現在

大学名	入学定員	収容定員	現員	定員充足率
愛知淑徳大学	50	200	219	110%
名古屋学芸大学	120	480	505	105%
桜花学園大学	175	700	725	104%
金城学院大学	120	480	483	101%
椋山女学園大学	90	360	357	99%
中部大学	80	324	315	97%
愛知東邦大学	80	320	300	94%
東海学園大学	70	280	230	82%
日本福祉大学	210	840	669	80%
同朋大学	60	240	170	71%
名古屋女子大学	200	800	459	57%
名古屋経済大学	100	400	225	56%
愛知学泉大学	70	280	149	53%
名古屋柳城女子大学	70	140	71	51%
名古屋芸術大学	100	540	221	41%

一方、学校教育専攻においては、教育学部専任教員におけるきめの細かい教育、キャリア開発センターにおける教員採用試験対策等の学生に寄り添った教育が身を結び、表4に見られるとおり、2017年度教員採用試験合格者26名から毎年順調に合格者を増やし2020年度合格者77名、2021年度合格者66名と飛躍的に向上している。この結果は、高等学校進路担任の先生方から評価されており、今後も志願者数増が期待できる。また、令和5（2023）年度より現在の教員養成課程に加え、中学校（理科）1種免許課程を開設予定（現在改訂認定申請中）であり、小学校免許に加え、現行の中学校（英語）もしくは中学校（理科）の教育職員免許取得が可能となる。教科担任制を必要とする小学校の教育現場において有効な教員養成を行うこともあり60人から70人（10人増）に入学定員を増やす、保育専攻の募集定員を20人減少させ、学校教育専攻を10名増として募集を行う。このため教育学部教育学科としては入学定員を全体で10人減とする。

表4 2017～2021年度実施 教員採用試験受験結果（教育学部）

		既卒	現役	合計
2021年度実施	小学校教諭	14	27	41
	特別支援（小）	1	0	1
	養護教諭	8	15	23
	英語	0	1	1
	合計	23	43	66
2020年度実施	小学校教諭	8	37	45
	養護教諭	10	22	32
	英語	0	0	0
	合計	18	59	77
2019年度実施	小学校教諭	4	20	24
	養護教諭	16	12	28
	英語	0	0	0
	合計	20	32	52
2018年度実施	小学校教諭	7	21	28
	養護教諭	13	5	18
	英語	0	0	0
	合計	20	26	46
2017年度実施	小学校教諭	4	12	16
	養護教諭	2	8	10
	英語	0	0	0
	合計	6	20	26

②スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

以下の理由により、令和5（2023）年度からスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の入学定員を260人から210人に変更する。

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科では、多様なスポーツ、健康の課題を捉えて自然科学的、社会的な研究成果を総合的に学修し、スポーツが持つ文化力を蓄積した保健体育教諭、スポーツ指導者、健康づくりリーダーとして現代社会に対応できる人材の養成を行うため、人間健康学科に置いていた「スポーツ教育コース」、「スポーツコーチコース」、「健康トレーナーコース」の3コースを配置し、近年まで本学の各学部と比しても堅調に志願者・入学者を維持してきた。

しかし、全国的にスポーツ系学部への進学需要は高い水準で推移しているものの、近隣の大規模大学で一流アスリート輩出実績のあるスポーツ系学部定員増が相次いでいる。その結果、本学のスポーツ健康科学部では、表5に示すとおり本学への志願者、入学者について減少していると考えられる。

今後、本学の強みである、サッカー部、野球部など強化指定クラブ活性化の取り組みや、スポーツ施設の充実等改善構想を中長期的に進めているが、継続的に定員を充足するべく50人の定員減とする。

表5 近隣スポーツ系大学学部別の募集定員、志願者数、入学者数の推移

大学	学部	学科	'20 募集 定員	'21 募集 定員	'22 募集 定員	'20 志 願 者 数	'21 志 願 者 数	'22 志 願 者 数	'20 入 学 者 数	'21 入 学 者 数	'22 入 学 者 数
東海学園大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	260	260	260	1432	1019	690	269	225	191
中京大学	スポーツ科学部	スポーツ教育学科	137	160	160	1492	1641		140	163	
中京大学	スポーツ科学部	トレーナー学科		80	80		1301			87	
中京大学	スポーツ科学部	スポーツマネジメント学科		80	80		1147			65	
中京大学	スポーツ科学部	競技スポーツ科学科	269	310	310	1390	869		281	286	
中京大学	スポーツ科学部	スポーツ健康科学科	84	110	110	1510	831		91	107	
至学館大学	健康科学部	健康スポーツ科学科	150	150	150	813	757	610	171	171	157
至学館大学	健康科学部	こども健康教育学科	60	60	60	264	239	264	65	65	63
至学館大学	健康科学部	体育科学科			100			426			105

参考：リクルート入試実態調査及び各大学 HP

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

ア) 教育課程の変更内容

教育学部教育学科（180→170）及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科（260→210）は、収容定員変更に伴う教育課程の変更は生じない。

教育学部教育学科学校教育専攻においては、令和5（2023）年に向けて、中学校教諭一種免許（理科）の課程を申請中であり、小学校教諭免許との同時取得を可能にし、教科担任制が必要とされてきている教育現場で活躍できる教員養成を行う。

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科においては、令和5年（2023）年度に向けて、「スポーツ教育コース」「スポーツコーチコース」「健康トレーナーコース」の3コースを、「スポーツ教育コース」「アスリートサポートコース」「子どもスポーツコース」「ヘルスデザインコース」の4コースへ変更する。コース変更により子どもから高齢者の健康・運動をサポートできる学びを準備する。

イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

①教育方法

収容定員変更後も、大学設置基準上の必要教員数を確保しており、教育方法変更は予定していない。講義、実験、実習形式のいずれも、授業内容の変更を行わずに対応することが可能であり、教育学部教育学科学校教育専攻は同等の教育効果が見込める。また、教育学部教育学科保育専攻とスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科においては、定員減のため、少人数ゼミなどでのよりきめ細かい指導が

維持できる。

②履修指導方法

①教育方法へ記載のとおり変更を行わないことより、履修指導方法についても変更は行わない。

ウ) 教員組織の変更内容

収容定員変更に伴う教員組織の変更は行わない。

エ) 大学全体の施設・整備の変更内容

収容定員変更に伴う施設・整備の変更は行わない。